分野	授業科目	単位（時間）	進度	担当
専門分野	基礎看護技術Ⅴ	1（30）	1年後期	工藤眞千世 実務経験あり

科目目的	看護過程の概念を理解し、対象の生活を支える看護実践における科学的思考の基盤を養う。
科目目標	1．看護実践に必要な問題解決思考とクリティカルシンキングをもとに、看護過程のプロセス・手法が理解できる。 2．ゴードンの機能的健康パターンに基づく、看護診断過程と問題解決の基礎的方略を理解できる。

単元名	教育内容	時間	教育方法	担当
1.看護過程とは	1）看護過程とは 2）看護技術と看護過程 3）看護過程の各構成要素の相互関係 4）問題解決思考とクリティカルシンキング 5）看護理論の活用 6）看護過程の変遷と看護診断	4	講義	工藤
2.構成要素	1）看護過程の構成要素 (1) アセスメント ①情報の種類とその具体的収集方法 ②枠組みの活用（情報の整理） ・ゴードンの11の機能的健康パターン ③推測・推論、情報の妥当化 ④関連図 (2) 看護問題の明確化（看護診断） ①看護診断と看護問題 ②看護診断の種類と構成 ③カルペニートの看護診断 ④優先順位の決定 (3) 看護目標と計画 ①看護目標の種類と設定方法 ②看護計画立案 ③クリティカルパスとバリアンス (4) 実施 ①実施の条件とエビデンス ②記録と報告 (5) 評価 ①評価の種類とそのタイミング ②段階ごとの評価とフィードバック	14 10	講義 演習	
3.まとめと試験		2		

テキスト／その他の教材	系統看護学講座「看護学概論」「基礎看護技術Ⅰ」（医学書院） ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断（ヌーベルヒロカワ） 看護過程展開ガイド　ヘンダーソン･ゴードン･NANDAの枠組みによる（照林社） 看護診断ハンドブック（医学書院）
評価方法	筆記試験、提出物等総合的に評価する。（100点）